

市指定文化財<史跡>

まわ たしじょうあと
馬渡城跡

指定日 昭和49年4月1日

所在地 菊池市七城町亀尾 梶迫



別名^{へびづかじょう}蛇塚城ともいい、城跡は個人の屋敷内にある。この城は古墳(古墳時代後期、1400年ほど前のもので前方後円墳)に造られており、上には城跡の碑と天神が祀られている。

城主蛇塚定家(蛇塚九郎)は打越城主、林原与三隆益の孫に当たるため、この城は打越城より後に築城されたものと思われる。

馬渡という地名からしても、また地形的な面から見ても、物資の集積の重要な場所であり、菊池川を利用した馬や舟による上下流からの運搬の任に当たったと思われる。

後年高島の舟着場などができ益々重要な場所となるが、この作業場を守る城が馬渡城の役目だったとも考えられる。

現在の七城温泉ドーム一帯は字「陣の内」といい、その当時は兵舎があったと推測される。